



11月のおたより

2025年（令和7年）11月1日
なぎさ音戸保育園



♡おたんじょうびおめでとう♡

≪6さい≫	2名
≪5さい≫	3名
≪3さい≫	1名
≪2さい≫	1名

おしらせ

- 11/16(日)音戸フェスマル(まちづくりセンター) (10:40 出演予定)
11/25 交通安全イルミネーション点灯式(音戸分庁舎) 10:00～
12/6(土)ふれあい朝市(10:30 出演予定)
1/11(日)出初式(入船山公園 多目的広場)
※上記のイベントに年中・長児が参加し音戸の舟唄と和太鼓を披露します。時間の許される方は是非応援しにいらしてください。



- 4日(火) キッズ教室(年少・中・長)
5日(水) 玉ねぎの苗植え
内科検診 13:00～ **できるだけお休みしないようにしましょう!**
6日(木) 歯科検診 12:30～
保小中合同避難訓練(音戸中学校へ避難)
7日(金) リトミック教室(年少・中)
移動図書
11日(火) 中学生保育体験
12日(水) なぎさひろば
13日(木) 発育測定
歯磨き指導(年長児)
16日(日) 音戸フェスマル出場(年中・長)
19日(水) 絵本会(年中・長)
感謝の訪問
21日(金) おにぎり誕生会・移動図書
25日(火) 交通安全イルミネーション点灯式
26日(水) なぎさひろば
28日(金) リトミック教室(年少・中)
お芋クッキング(年中・長)



- 2日(火) キッズ教室(年少・中・長)
3日(水) 防火パレード(雨天の場合9日!)(年中・長)
5日(金) リトミック教室(年少・中)・移動図書
6日(土) ふれあい朝市(年中・長児参加)
10日(水) なぎさひろば
12日(金) 発育測定
16日(火) 避難訓練(火災予防教室)
17日(水) 絵本会(年中・長)
18日(木) このゆびとまれ人形劇
19日(金) リトミック教室(年少・中)・移動図書
23日(火) クリスマス誕生会
ケーキクッキング(年中・長)
24日(水) なぎさひろば
27日(土) 保育納め



- 12/3(水)防火パレード 10:00 から、幼年消防クラブ
の年中・長児が防火を呼びかけながら町内をパレードします。時間の許される方は沿道で応援してください。

クラスだより

〈くじらぐみ〉

先日の発表会で子どもたちは、練習の成果を出し切り、少しドキドキしながらも元気に楽しく頑張ることができました。友だちと一緒に考えてすすめてきた発表会の演目を、やり遂げたことで大きな自信につながったと思います。今月から地域の行事に参加して舟唄や和太鼓を披露することを、楽しみにしている子どもたちです。「頑張ろうね!」「お客さん、いっぱいかね?!」などワクワクしている気持ちが日々の会話から伝わってきます。楽しみにしていください。園庭ではこおり鬼ごっこや縄跳びなどで体力づくりをしています。たくさん身体を動かした後は「お腹すいた〜!」と毎日給食を楽しみにしてる子どもたちです。

〈いるかぐみ〉

発表会の練習などを通して、年中組だけで何かを成し遂げる楽しさを感じているように思います。誰か1人いないと話が止まってしまう。仲間意識が深まったように感じます。そして、園庭遊びでも「するよ〜、足出して〜」と片足を集めて鬼決めをしたり、自分たちでルールを決めながらあそびをすすめています。発表会では1人ひとりが役や担当を一生懸命にやりきる姿を見てもらえたかと思います。ぐーんと成長した様子を嬉しく思っています。

〈ひまわりぐみ〉

秋晴れの空の下、虫探しやお気に入りの遊具を見つけ園庭のあちらこちらで子どもたちの笑い声や会話が聞こえてきます。大型遊具に登ると「せんせ〜!」と、いつも元気に呼んでくれます。戸外でのびのびと身体を動かしながら、友だちと関わる姿に成長を感じています。「できること」も増えてきて2歳児さんはおやつ後の身の回りの片付けなど自分からやってみようとしています。1歳児さんも同じように真似っこしています。色々な場面での「やってみたい」を大切に見守っていきたいと思います。

〈らっこぐみ〉

虫探しや種集めなど秋の自然を感じて過ごしています。これまでは年中さんに誘われたり後をついて行ってあそぶことが多くありましたが、自分の好きなこと、好きな物を友だちを誘ってあそぶようになり成長を感じています。発表会の練習では、年中さんが舞台下でお客さんになり「うんとこしょ!どっこいしょ」とかけ声をかけてくれることで、役になる楽しさを感じ大きな声が出るようになりました。本番の初舞台では恥ずかしさや緊張から練習の姿のようにはいきませんでしたが、よく頑張りました。

〈たんぼぼぐみ〉

秋らしく涼しくなり園庭あそびではアスレチックや身体を動かすあそびに積極的に取り組む子どもたちです。友だちの様子を見ながら「やってみたい!」という気持ちを膨らませ、保育士と一緒に挑戦しています。日々の生活の中でも自分でやろうとする姿や、絵本を持って「読んで!」と伝える姿が見られ、意欲いっぱいに過ごしています。楽しいあそびを通して、子どもたちの『やりたい』『やってみたい』がどんどん増えて笑顔いっぱいになるよう過ごしていきます。



こんなことありました！



《くじらぐみ》

★おやつ前の出来事…

A「今日のおやつ、シュガートーストじゃー！嬉しい♡」

B「楽しみじゃね！」　そしておやつが始まると…

C「みんな～、お皿持って食べてー」

A「どうして？」

C「パンの粉と砂糖が落ちたらアリさんが来るんよー、それと先生の掃除が大変じゃん！」　すると、みんなお皿を持って美味しそうに食べていました。みんなの優しさを感じてほっこりしました。

★鍵盤ハーモニカの練習中…

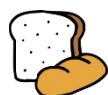
D「先生一、指は動くんじゃけど、吹きにくいよ…」

保「どしたんかね、壊れたんかね?!」するとDちゃんが口を開け…

D「前歯が抜けたけん吹きにくいんよ」

E「ぼくも歯が抜けたけん吹きにくい…」　でも、二人とも吹きやすい位置を見つけて上手に口にくわえて演奏していました。

保「すごい、上手！」自分で考えていて感心しました。



《ひまわりぐみ》

★お絵描きが大好きな1歳児のAちゃんと2歳児のBちゃん。いつものようにBちゃんがお絵描きをしているとAちゃんが隣に座り…

B「アンパンマン描いてあげようか?!」

A「うん！」と、嬉しそうにBちゃんが描く様子をじーっと見つめ描き終わのを待っています。

B「はい、どーぞ！」

A「アンパンマン！、先生、アンパンマンよ、見て！」と教えてくれました。異年齢児の関りがほほえましい姿でした。

★2歳児さんのみんなでトイレに行ったとき…

C「ウンチが出る」というので便器に座っていると

D「Cくんまんかれ！（がんばれ）」とエールを送っていました。

その後も…D「まんかれ！Cくんたくさん出た？」と心配そうに

C「ウンチ出た！」

D「良かったね♡」と安心した様子。きっと

“まんかれ”（がんばれ）の応援が届いたのでしょうね！



《いるかぐみ》

★遠足の時のこと…帰りにクレーン車の作業を見させてもらい帰路につきました。

A「見て～、ここからもクレーン車が見える！」

B「ほんとじゃ！」

保「まだお仕事されてるんじゃね」

A「高いねー、キリンみたい！」

B「黄色じゃけん、キリンじゃない？」

C「Kくんのキリンじゃない？」発表会の劇の役とだぶらせながらみんなでクレーン車を見学しました。

★絵本会で“とても大きなサンマのひらき”を聞かせてもらった帰り道…

D「カニ、買ったかなあ」　E「おっきなタコ、おもしろかったね」

F「またや～ってなったね」と、見つめ合って笑っていました。

D「魚、死んどったのに動いてたね」　開きになったサンマがブルブルんと、動いていたのが印象的だったようでした。



《たんぽぽぐみ》

★歩けるようになったAちゃんとBちゃん。少し前までは“コロソ”と転がると泣いていましたが、1歩2歩と歩けるようになると

A「…うんしょ…」自力ですぐに立ってまた歩きます。

B「あっ…」と一瞬止まりますがまた立ち上がります。

二人とも何度も立ち上がって歩き、勇ましさを感じます。

園庭でも靴を履いていろんなところに自分で行けることをしっかり楽しんでいきます。

★園庭あそびでのこと…1歳児さんが2人でお皿やスコップなどを持ってきてテーブルに並べ、一緒に椅子に座っていました。

C「あいっ！」

D「……うん、うん、…ねえ～」

2人で時々顔を見合わせながら、2人にだけわかる会話をしています。ニコニコしながらやり取りする姿がとっても可愛かったです。



《らっこぐみ》

★年長さんと一緒に芋畑でバッタを探す子どもたち。なかなか自分で捕まえられませんが、手伝ったりして虫かごに入れると得意げに

A「見て～！バッタよー」息を切らして見せにきました。

保「ショウリョウバッタだね！」　A「ショウリョウバッタ？」

そして、次にまた見せてくれたのは…

A「上に乗ってるバッタよ～」　保「これはおんぶバッタよ！」

A「おんぶ？」気に入ったようで

A「見て～、おんぶバッター！」と友だちに見せに回っていました。

★ままごとあそびでは鍋やコップに食べ物を入れて料理やジュースを作ることが大好きならっこ組さん。

B「イチゴジュースよ。次は…フフフ」魚やハンバーグを入れ…

保「えーっ、これは何の味のジュース？」

B「毒ジュースです」　一口飲んで…

保「く、く、くるし～い…」と倒れると、大ウケです！



こんな時、どうする？ 苦手が「できる」にかわる！



◎自分で靴下を履いてみよう！◎



着脱の中で、見ながら操作が行える靴下の着脱は取り組みやすい活動です。

はじめは、脱ぐ・履く動作の最後の動作からやってみましょう。脱ぐ動作はかかとまで外した状態から子どもに指先部分を引っ張らせ、履く動作は指先を通した状態から子どもに引っ張らせてみます。靴下を一人で上手に履くポイントは、履くときの姿勢です。床に座り、履く方の膝を立て両側に左右の腕がくるようにします。この時、反対側の足は床に倒すことで姿勢が安定します。

★両手がうまく使えない場合…輪ゴムに両手の親指を入れて、引っ張り広げる練習をしましょう。うまく広げられるようになったら足にはめてみます。

★力のコントロールが苦手?!…伸縮性のある靴下を操作する時には、力加減が重要なポイントです。まずは足を通しやすい柔らかくてなめらかな素材のものを選んで練習してみましょう。

★ワンポイントアドバイス…洗濯後の靴下をどのように畳んでいますか？

左右の側面を合わせた靴下では子どもがそのまま持って履いてしまいかかとが合わないことがあります。子どもが慣れるまでは前後を合わせた状態にして両端を持って履くようにするとかかとが合いやすいです。

